

清心道中金持草鞋
十七

二十四
日
拜

逍遙文庫
文庫 6
1004
17



文庫6
1004
17

金^ノ子^ノ鞋^ノ十六^ノ編^ノ二十四^ノ章^ノ御^ノ舊^ノ跡^ノ巡^ノ拜^ノ凡^ノ例^ノ

親^ノ馬^ノ聖^ノ人^ノ御^ノ舊^ノ跡^ノ巡^ノ拜^ノ凡^ノ例^ノの道^ノ次^ノ悉^ノく^ノ記^ノ述^ノと^ノし^ノが^ノも^ノ記^ノ述^ノ

他^ノに^ノ中^ノ記^ノ子^ノあ^ノれ^ノは^ノ主^ノ持^ノ礼^ノ而^ノに^ノつ^ノら^ノる^ノ欠^ノ甲^ノ各^ノに^ノ一^ノ所^ノあり^ノ此^ノ書^ノに^ノ精^ノ

ぞ^ノり^ノは^ノれ^ノバ^ノ帖^ノ教^ノ高^ノき^ノと^ノり^ノが^ノた^ノり^ノ也^ノ京^ノ原^ノの^ノ地^ノ名^ノ除^ノく^ノる^ノも

何^ノれ^ノと^ノ案^ノ内^ノよ^ノり^ノて^ノハ^ノ洋^ノる^ノ所^ノ等^ノと^ノが^ノ一^ノ他^ノの^ノ及^ノ中^ノ記^ノを^ノ悉^ノく^ノ一^ノ見^ノ

あ^ノら^ノう^ノと^ノ取^ノ希^ノふ^ノの^ノと^ノま^ノれ^ノど^ノも^ノ往^ノ來^ノ筋^ノより^ノ極^ノ度^ノよ^ノり^ノと^ノる^ノ可^ノき^ノ遠^ノ矣^ノ

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

因^ノて^ノは^ノ而^ノ論^ノの^ノう^ノち^ノ上^ノ序^ノの^ノな^ノり^ノ迄^ノに^ノさ^ノう^ノと^ノれ^ノバ^ノ是^ノハ^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

其^ノの^ノ巡^ノ行^ノ紙^ノ輕^ノく^ノし^ノて^ノ也^ノ尤^ノも^ノん^ノる^ノ也^ノ在^ノる^ノは^ノ凡^ノに^ノ列^ノ履^ノ未^ノだ^ノ戒^ノく

十返舎一九誌(頁)

親鸞 聖人 御舊蹟廿四輩巡拜道中記	武藏 築地御堂 浅草 御堂 鎌田 赤木賣 宇	下総 三村 三田 辺田	横曾根 天神 大高山	新地 大坊 小島 宇	下妻 大坊 宇	常陸 大曾根 柿岡	大増 板敷 宇	稲田 笠間 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	添 水戸下町 上野
越中 外浪 富山	賀 三田市 半濱 経田	金沢 上	越前 動橋 半吉崎	細呂木 福井 宇	鳥羽 鯖江 宇	近江 最勝寺 大物	山城 比叡山 京都	虎石町 月見町	西六条 奥正寺	
遠江 濱松 宇 掛川	駿河 六 宇 藤枝 宇	府中 宇 奥津 宇	甲斐 府中 宇 栗原	十 等カ 宇 真木	伊豆 三嶋 宇	相模 箱根 宇 小田原 宇	後下 宇 国府津 宇	山 宇 倉田 宇	鎌倉 君在柄 宇 野日	

可川 和田 大郡 松原 宇	額田 寺河 合 宇 谷河 原	宇 宇 宇 宇 宇 宇	下野 鳥山 竹部 宇	金沢 宇 宇	陸奥 棚倉 福島 宇 仙	甚 宇 宇 宇 宇 宇 宇	出羽 六郷 七 宇 宇	越後 新發田 宇 新泻 宇	鳥屋野 宇 保田 宇 半 兒島	宇 宇 宇 宇 宇 宇	三 宇 宇 宇 宇
東六条 佛光寺	崇大院 東大谷 栗谷	近江 山科 大津 近松	宇 宇 宇 宇 宇 宇	尾張 小田井 宇 各古屋 宇	三河 一里山 西畑 野寺	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇
宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇	宇 宇 宇 宇 宇 宇

金草鞋十六編
十返舎著 追刻
此編八相及家藏寺
左了推現糸傍の記
そとより根七協と
あつ傍糸傍の記
まかりまのの糸古
此金草鞋の糸古
あつて全冊六巻
中巻の板割の糸古
行とらうの



〇それより三びきりあつて
 世帯のうらちいへ
 遠田のさねねん
 これも干
 正徳のま
 るつとま
 のめん
 しん
 ぶりのふ
 ありま
 手ひねま
 えん
 づ
 大
 ト
 と
 と
 の
 の
 〇それより三びきりあつて
 世帯のうらちいへ
 遠田のさねねん
 これも干
 正徳のま
 るつとま
 のめん
 しん
 ぶりのふ
 ありま
 手ひねま
 えん
 づ
 大
 ト
 と
 と
 の
 の

〇ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ



〇それより三びきりあつて
 世帯のうらちいへ
 遠田のさねねん
 これも干
 正徳のま
 るつとま
 のめん
 しん
 ぶりのふ
 ありま
 手ひねま
 えん
 づ
 大
 ト
 と
 と
 の
 の

〇ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ

〇ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ
 ちこそとておれ
 おれおれおれ

〇その心なりしは... 命の
あはれなるものなるせん
とてりてなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの

〇... 命の
あはれなるものなるせん
とてりてなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの



あはれなるものなるせん
とてりてなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの

〇... 命の
あはれなるものなるせん
とてりてなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの



舟
油
舟
油
舟
油
舟
油
舟
油

あはれなるものなるせん
とてりてなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの
なるものなりたるなるもの









この山は...
みゆき...
あつた...
ちげん...
たけ...
この山は...
みゆき...
あつた...
ちげん...
たけ...



この山は...
みゆき...
あつた...
ちげん...
たけ...



この山は...
みゆき...
あつた...
ちげん...
たけ...
この山は...
みゆき...
あつた...
ちげん...
たけ...

鳥山



いすかちとつり
 ちりりつりつり
 さうさゆひひりつり
 はありつりつり
 いあつりつり
 りつりつり
 つりつり
 つりつり

いすかちとつり
 ちりりつりつり
 さうさゆひひりつり
 はありつりつり
 いあつりつり
 りつりつり
 つりつり
 つりつり

いすかちとつり
 ちりりつりつり
 さうさゆひひりつり
 はありつりつり
 いあつりつり
 りつりつり
 つりつり
 つりつり

いすかちとつり

いすかちとつり

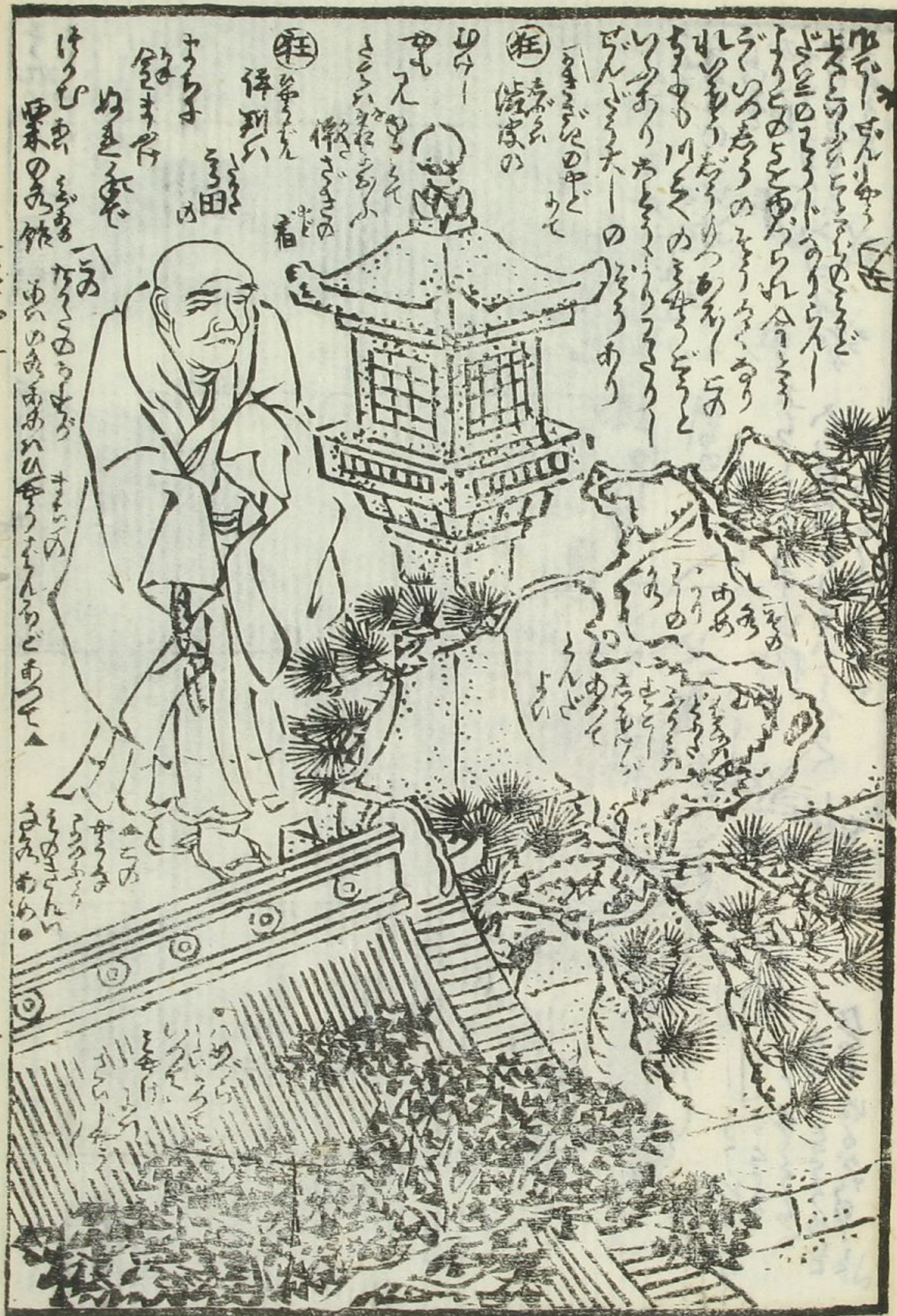


いすかちとつり
 ちりりつりつり
 さうさゆひひりつり
 はありつりつり
 いあつりつり
 りつりつり
 つりつり
 つりつり

いすかちとつり
 ちりりつりつり
 さうさゆひひりつり
 はありつりつり
 いあつりつり
 りつりつり
 つりつり
 つりつり

いすかちとつり

いすかちとつり



此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

十四

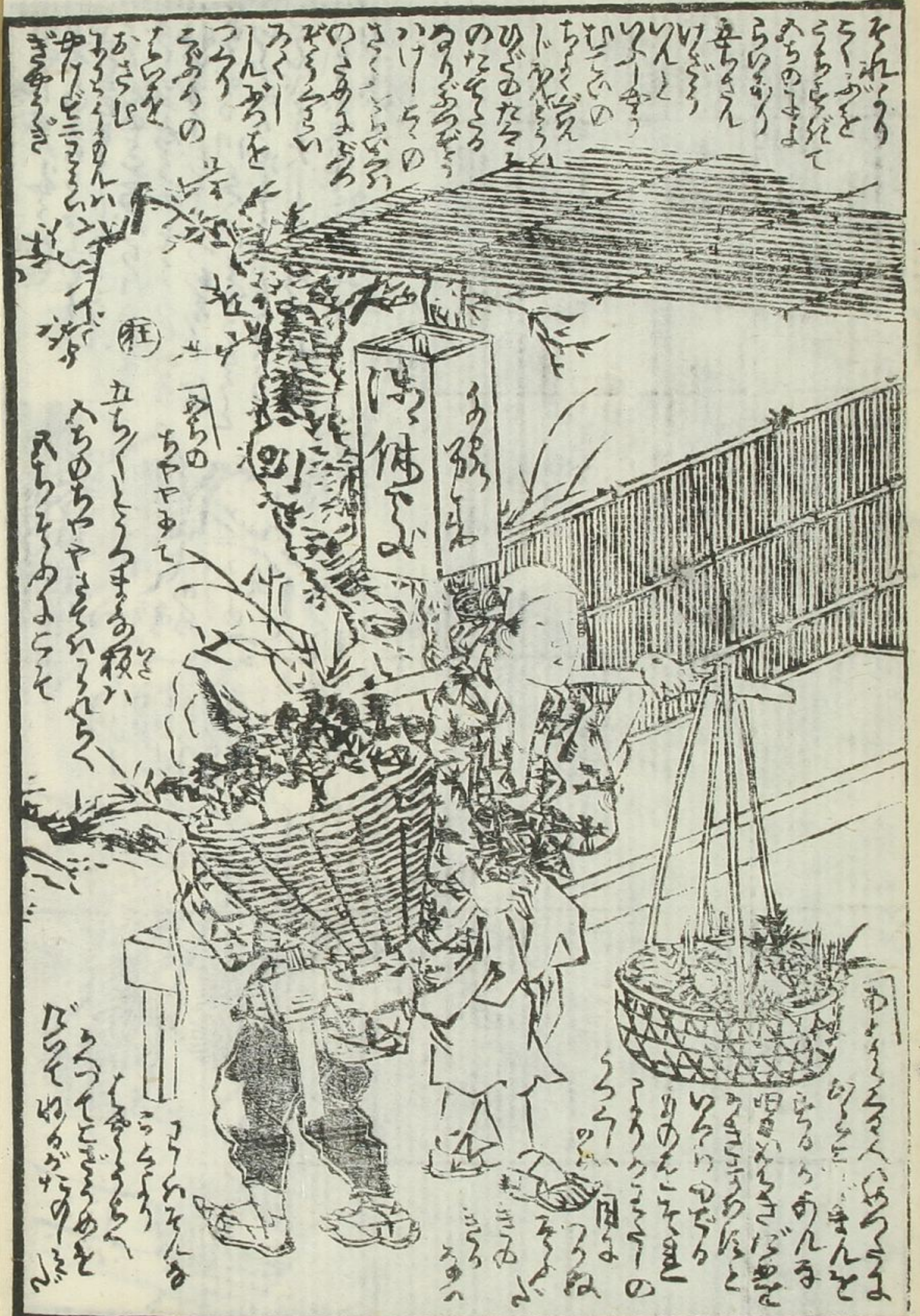


此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

此の石燈籠は
 昔の僧侶が
 建てたもので
 今も残っている
 といふ。

十四



三浦半島の...
 上ノ...
 ...
 ...
 ...



十返舎一九著

画丸美

...

...
 ...
 ...
 ...



...

...



可なりと申す
 舟のまはり
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる

舟のまはり
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる

舟のまはり
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる

舟のまはり
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる



舟のまはり
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる
 のりまはる



「おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

あまの
まぢり
あまの
まぢり

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

あまの
まぢり
あまの
まぢり

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく



おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

あまの
まぢり
あまの
まぢり

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

あまの
まぢり
あまの
まぢり

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

おれからよの
かりぬとよき
せうらふと
うしろとく

七世

七世



狂 狂 狂

十九



七
七

七
七



七
七

七
七



廿四

廿四



あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち

あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち



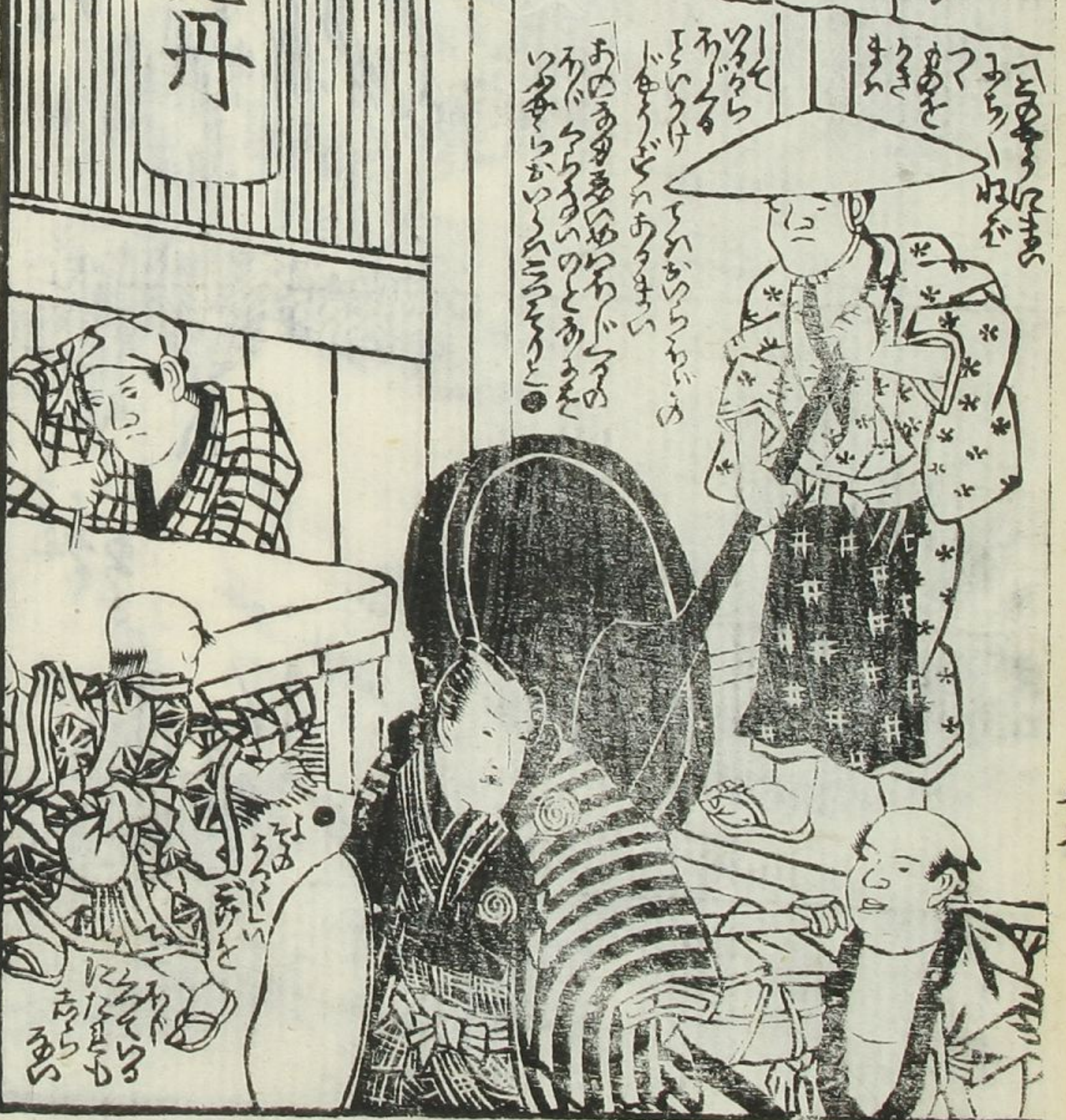
あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち

あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち
 あつちの山はつらつら
 つらつらの山はあつち

十一

十一

七つ入りのくさくさは
 とまらぬあひらとれ
 ありけいごのよ上人の
 不り丹ありきあて
 世つとあふらう



夕魂丹
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用

狂
 狂の山せられ
 狂の山せられ
 狂の山せられ



夕魂丹
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用
 夕魂丹の効用

早稲田大学図書館

011688991961